

# 大東京

清川泰次が写した昭和十五年のメトロポリス



世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

平成二十年四月五日(土)より七月二十七日(日)まで



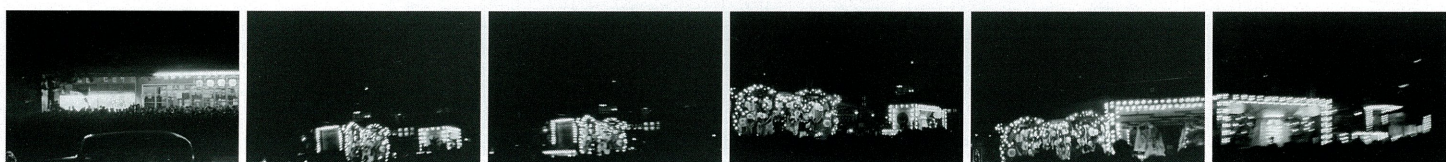
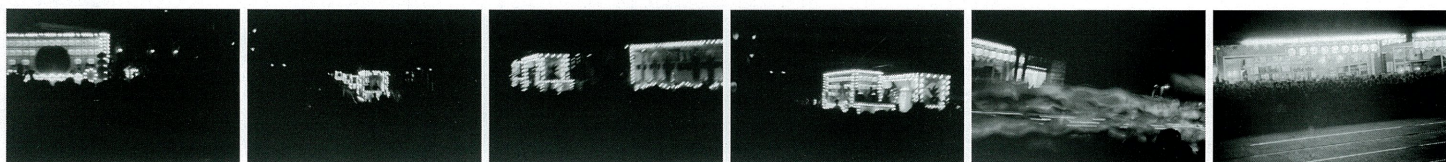
昭和十五年十一月十日。東京、銀座。

一人の青年が、ライカⅢaを首から提げながら日中から夜にかけて帝都を闊歩し、モノクローム・フィルムにその表情を焼き付けました。そこには、華々しく飾られた街並みに始まり、徐々に押し寄せる群衆とその熱気、斜陽に覆われていくビルディング、暗闇で固唾を呑みながら待つ人々、闇を駆け抜ける花電車など、若きアマチュア写真家の眼に映り込んだ大都市の間断なく変わる多彩な表情が、まるで一本の映画のように見事なシークエンスとして残されています。

本展は、のちに抽象画家として活躍することになる清川泰次の若き日の眼差しを通し、東京という都市の一日を、約百枚の写真とともに追懐せんとするものです。

### 清川泰次

1919年、静岡県浜松市生まれ。慶應義塾大学経済学部を卒業ののちに画家を志し、二度のアメリカ留学を経て独自の抽象画を追求し続けた。大学生時には写真部に所属、当時流行した新興写真の影響を受けた写真作品を多数残しており、約5000点のフィルムが現存している。2000年逝去。

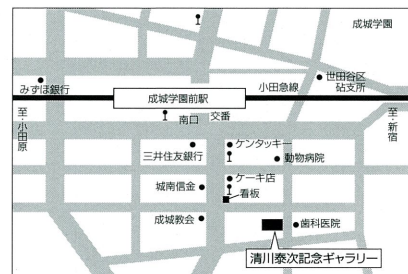


平成二十年四月五日(土)より七月二十七日(日)まで

## 世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 TEL:03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

●開館時間／10:00～18:00(入館は17:30まで) ●休館日／毎週月曜日(休日と重なった場合は翌日。ただし、4月28日(月)は開館。)  
●観覧料／一般200円(160円)、高校・大学生150円(120円)、小・中学生100円(80円)、65歳以上及び障害者の方100円(80円)※( )内は20名以上の団体料金。小・中学生は土・日・祝日無料。※障害者で小・中・高・大学生、及び障害者の介護者(当該障害者一人につき、一人に限る)は無料。  
●最寄交通機関のご案内／小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分



本館情報 世田谷美術館・〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL:03-3415-6011(代)

- 企画展 「冒険王・横尾忠則展」 4月19日(土) - 6月15日(日)
- 「建築のみる夢 -石山修武と12の物語-」 6月28日(土) - 8月17日(日)
- 収蔵品展 「ナルドレンズ・ミュージアム 物語が聞こえる -ぼくたちのお気に入り」 6月27日(金) - 9月7日(日)

分館情報 会期:4月5日(土) - 7月27日(日)

- 向井潤吉アトリエ館 〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL:03-5450-9581  
「武蔵野一ふたつの憧憬 向井潤吉 師岡宏次」
- 宮本三郎記念美術館 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL:03-5483-3836  
「『最初に引いた一線は、最も新鮮な効果があるものだ』 -宮本三郎の線」